

教育・人材育成

合格おめでとう！フランス、エドウィン！

昨年11月17日、フランスとエドウィンの2名が小学校教員国家試験に合格したという嬉しい連絡がありました。もう1人の受験生メグリリンは残念ながら不合格です。合格した2人も、すぐ公立小学校に就職できる保証はなく、4月に再受験するメグリリンとともに、当分はCMIP運営の小学校で教えることとなります。

すでにお伝えしたように、この国家試験準備と受験経費はNPO法人「WE21 ジャパンさいわい」の支援によるものですが、3人が教壇に立って痛感した教科書不足問題の解決のため、「さいわい」からの次年度の支援も決定しました。6月の新学期には小学校1、2年生に算数と英語の教科書合計240冊(3人に1冊の割合)が配布される予定です。

12月訪問の折、受験生を代表してフランスから「さいわい」宛ての感謝のクリスマスカードを預かりました。HANDSからの礼状も添えて川崎市のショップに送付させていただきました。(山崎)

WE21 ジャパン:神奈川県内で50余りのリサイクルショップを運営し、その収益で発展途上国の支援事業を助成しているNPO法人です。本年度HANDSがご協力いただいた「さいわい」「みどり」は、そのショップの一つで、それぞれが独立したNPO法人です。

給食支援継続について

— ラムアフス小学校の体重測定結果から —
空腹で授業に集中できない児童の栄養改善と学力向上を目指して、週3回の給食支援を開始して3年半が過ぎました。成果を検証する資料が間に合わなかったため、ラムアフス小1年生16名(7-15歳うち女子3名)の12月の体重測定結果を報告します。日本の児童年齢別体重の平均は、7歳23.9kg、8歳26.9kgです(2008年)。

7歳	7歳	7歳	7歳	8歳	8歳
21kg	21kg	20kg	19.5kg	21kg	20kg
8歳	8歳	9歳	9歳	9歳	9歳
20kg	16.5kg	21kg	21kg	20kg	20kg
9歳	11歳	13歳	15歳		
16kg	20kg	34kg	35kg		

12月は「ミルクココアと芋」「鮭缶と野菜とモンゴ豆」など6回の給食があり、クリスマス会は豚肉、野菜、モンゴ豆入ビーフンといったメニューでした。

新システム・自宅通学奨学生の実費

全寮制だったCMIPのハイスクール奨学生について本年度からは、①中退を減らす②経費節減を目的に原則自宅通学にしました。

親の苦勞が見える、手伝いができるなど、その成果はすでにお伝えしておりました。以下は経費面に関する前期(半年)報告の一部です。なお、4年生と近隣の生徒は引き続きミアソン寮から通学しています。

- * ミアソン寮生:エドナ(公立エスコビヨ校1年)
校納金 1,511 食費 2,481 交通費 100 他計 4,397
 - * 自宅通学:チャルメイン(公立マランダグ校3年)
校納金 1,316 食費 786 交通費 336 他計 3,170
 - * 自宅通学:ジュネル(公立ツピ校1年)
校納金 2,238 食費 642 交通費 417 他計 3,878
- (単位はペソ。1P=2円)

新システム導入により、担当者の交通費を含めても年間推定10%程度の削減は可能のようです。

卒業生アンケートから

— 12月の同窓会(P1参照)追加報告 —



カレッジ生(中央・リサとバネッサ)と卒業生の交流

- *アーリーン(05年ホテル・レストランコース卒・写真右端)カタルで会社受付を2年して帰国。韓国で就労のためビザ申請中。家族のため、あと2年働いてから後輩の奨学金支援をしたい。
- *ジャネッサ(08年看護助手コース卒・写真左端)半年間CMIPの仕事を手伝ったあと、ガイサノ・モールで3ヶ月働いた。将来は医療関係で働きたい。
- *ホセ(03年車両整備コース卒)農業に従事。村のキリスト教基礎共同体議長を務める。村の教師(卒業生)と結婚予定。
- *チェルリン(08年看護助手コース卒)12月までボランティアで医療研修などCMIPの仕事を手伝った。1月からはマニラでベビーシッターをする。将来的には介護の仕事を探したい。